

平素は工業会の活動にご理解とご協力賜り誠にありがとうございます。

猛暑の日差しに体力が奪われ過ごしにくい日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

今月号は環境展での状況報告や総会報告、視察研修会等についてご案内いたします。

《2025 年 5 月 28~30 日開催「2025NEW 環境展/地球温暖化防止展」》



NEW環境展は「環境ビジネスの展開」地球温暖化防止展は「CO2削減と新エネ・省エネビジネスの推進」をテーマに掲げ、昨年を超える多くの来場者（96,192名）があり、大盛況な3日間でした。

当ブースとしても3日間合計およその来場者数は400名、頂戴した名刺の数は237枚という実績でした。

循環型社会が注目される中で、RPFへの関心が高まり、興味を持っていただき質問をされる方も多く、説明するスタッフの話を熱心に聞かれていました。

当日は、多くの会員企業様が当ブースにお越し頂き、誠にありがとうございました。

《第13回定時社員総会の開催》

第13回定時社員総会

日時：令和7年6月19日（木）

場所：明治記念館 2階 孔雀の間

出席者数：128名（+マスコミ10名）

当日は、下記4議案について審議頂きました。

第1号議案 令和6年度活動報告の件

第2号議案 令和6年度収支決算報告の件

第3号議案 令和7年度事業計画案承認の件

第4号議案 令和7年度予算案承認の件

※すべての議案が承認されました。

※経済再生担当大臣 赤澤 亮正 氏 より祝辞を賜りました。



総会講演会

出席者数：130名（+マスコミ10名）

ゲスト：お笑い芸人 マシンガンズ 滝沢秀一 氏

タイトル：マシンガンズ滝沢と考えるゴミ問題～清掃員から見た景色～

漫才コンビ「マシンガンズ」として活動する一方で、清掃業にも従事し、ごみ問題の現場を熟知。

著書『ゴミ清掃員の日常』はベストセラーとなり、環境省の審議会委員としても活躍中です。タイトルの通り、日々の清掃現場での経験を交えながら、私たちが直面するごみ問題と未来の社会について、ご講演いただきました。滝沢様、貴重なお話をありがとうございました。



総会懇親会

出席者数：116名※うち来賓14名（+マスコミ11名）

以下、5名のご来賓方々からご挨拶を頂戴しました。

来賓御挨拶 参議院議員 中田 宏 氏
 衆議院議員 小林 史明 氏
 衆議院議員 稲田 朋美 氏
 参議院議員 朝日 健太郎 氏
 経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長 土屋 博史 氏

乾杯の御発声 日本プラスチック工業連盟 専務理事 清水 浩 氏

中締（閉会挨拶） 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 課長 松田 尚之 氏

※途中に、昨年総会以降にご入会された企業様をご紹介してご挨拶いただきました。

懇親会には110名を超える皆様にご参加いただき、終始賑やかな雰囲気の中で進行しました。参加者の皆様は積極的に情報交換を行い、交流が深まりました。特に業界の最新動向や課題についての意見交換が活発に行われ、大変意義のある時間を過ごすことができました。

《安全衛生委員会 熱中症・BCP対策》

安全衛生委員会では、労働安全衛生規則の改正に伴い義務化された熱中症対策について、5月に義務化の内容を案内すると共に、義務化の骨子である「熱中症の恐れのある者に対する処置フロー」と「熱中症報告体制」の参考モデルを発信しました。

また、11月6日の安全大会に向けて、5月～6月に会員企業の工場管理者へ火災事故・火災事故対策及び自然災害事例、BCPに対するアンケートを実施しました。

集約された情報から、先進的な好事例先を8月～9月に安全衛生委員会で取材へ行く予定です。

社会問題化するリチウムイオン電池類を起因とした火災事故を未然に防止する有効策等、会員皆様に有益な情報を安全大会で発信できるよう進めてまいります。

《技術品質委員会の今後の活動について》

今年度の技術品質委員会では、例年行っている工場見学会と勉強会に加え、新たな試みとして意見交換会を初めて実施することとなりました。委員会にてテーマを設定し、参加者の皆様にはその内容について意見を出し合ってください。これにより、一方通行の情報発信にとどまらず、会員間での情報共有や課題の明確化が進むことを狙いとしています。

意見交換会のテーマは、事前に実施したアンケート結果をもとに、会員の関心が高いものを反映して決定い

たします。詳細については改めてご案内させていただきますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

《サスティナビリティ推進委員会 視察研修会》

日 時：令和7年7月25日（金）

参加者：13社15名

視察工場①株式会社TBM 東北LIMEX工場

【TBM社・LIMEX概要】

2011年に創業、2014年に基本特許を取得。2016年には第1工場（白石工場）が年産6,000トン規模で稼働を開始し、2021年には東北工場（多賀城市）が年産27,000トン規模で操業を開始しました。

LIMEXは石灰石（ CaCO_3 ）を50%以上含有し、汎用樹脂と均一に混練して製造されるシートおよびペレット製品で、紙やプラスチックフィルムの代替として注目されています。シートは枚葉状やロール状で製品化され、ペレットは既存の成形方法に幅広く対応可能です。また、シート厚 $80\mu\text{m}$ においても石灰石が表面に露出しないよう、粒度管理を徹底している点が特徴的です。



【視察内容】

今回の視察研修会では、石灰石を主原料とした新素材「LIMEX」を製造している株式会社TBM 東北LIMEX工場を訪問しました。TBM様からは阿部健二マネジャー（人事総務部）にご対応いただき、会社概要や工場の成り立ちについて口頭説明とビデオを交えてご紹介いただきました。

視察工場②J&T環境株式会社 プラスチックリサイクル本部 仙台事業部

【J&T環境(株) 仙台事業部 概要】

2000年より仙台市の容器包装プラスチックの処理を開始。
2006年からプラスチックパレット製造を開始しました。
2023年には製品プラスチック一括回収の受け入れを開始し、大臣認定第1号を取得。選別から再商品化まで一貫して担える体制を構築しています。



【視察内容】

バール化施設では、パッカー車で搬入されたプラスチックを受け入れ、ショベルローダーで破袋機へ投入。振動式選別機でフィルム系と固形製品に分別された後、手選別で不適物を除去し、高磁力磁選機を経て圧縮梱包される一連の流れを確認しました。

続いてプラスチック再生処理施設では、バール化されたプラスチックを解砕し、光学選別機でPSとPE/PPに分け、さらに風力や手選別で異物を取り除きます。比重差選別機で純度の高いオレフィン樹脂を抽出し、乾燥・粉碎を経て原料化される様子を見学しました。

パレット製造施設では、再生プラスチック原料を溶融押出機に投入し、油圧式金型成形機で成形。離形後には人の手によるバリ取りが行われ、次々と再生パレットが生産されていました。また、再生工程で生じた残渣は近隣事業所で畳と混合しRPF化されるなど、廃棄物の有効利用も徹底されていました。



容器包装プラスチックの回収から選別・再生・製品化、さらに残渣のエネルギー利用までを一貫して行える仕組みは、CO₂排出削減にもつながり、環境負荷を極めて小

さくする理想的な取り組みであると実感しました。施設見学を快く受け入れてくださり、丁寧なご説明をいただいたJ&T環境の黒田様をはじめ関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

今回の視察はサステナビリティを推進している2社を見学することが出来ました。より環境負荷の少ない製品開発や廃棄されるプラスチックの性状に合わせたリサイクル手法や地元自治体との連携等とても有意義な機会となりました。

《サステナビリティ推進委員会 Jクレジット勉強会》

日 時：令和7年8月6日（水）

参加者：7社8名

場 所：特種東海製紙株式会社

特種東海製紙株式会社を訪問し、Jクレジットに関する勉強会を実施しました。2016年に同社がバイオマス燃料自家発電ボイラーを設置した際に申請し、実際にJクレジットを取得するまでの経緯について詳しくお話を伺いました。

勉強会では、申請に必要なモニタリングやデータ管理の方法、また環境価値を経済価値へと転換する具体的な事例について学ぶことができました。Jクレジット制度の活用が企業活動にどのように寄与し、環境と経済を両立させていくのかを理解する大変有意義な機会となりました。

ご多忙の中、丁寧にご説明いただいた資源再活用本部 事業開発部長 牧田様、福井様に厚く御礼申し上げます。

CP研究分科会では、今後RPFの環境価値を経済価値へ変換できるかをテーマに議論を深め、サプライチェーン全体でのGHG排出削減に向けた取り組みを推進して参ります。

《青年部 北海道視察交流会》

日 時：令和7年7月11日(金)~12日(土)

参加者：19名

場 所：株式会社苫小牧清掃社

青年部会では、7月11日から12日にかけて北海道にて視察交流会を開催しました。

初日の11日には、苫小牧清掃社様のRPF製造工場を視察し、製造工程や設備の運用について学びました。視察後は洞爺湖へ移動し、懇親を深める交流会を実施しました。翌12日にはゴルフ交流を行い、参加者同士の親睦をさらに深めることができました。今回も多くの方にご参加いただき、大変有意義な機会となりました。

また、本年度は9月25日～26日に、昨年ご好評をいただいた【工場長サミット】を開催予定としております。会員の皆様にとって実りある場となるよう準備を進めておりますので、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

青年部会では今後も、人材育成や開発に資する事業の実施、そして会員間のネットワーキングの強化を通じ、工業会の発展に寄与してまいります。



【編集後記】

猛暑が続くなか、会員の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今月号では、盛況のうちに幕を閉じた環境展や定時社員総会、そして各委員会・部会による視察研修会や勉強会の様子など、多岐にわたる活動をご報告いたしました。特に、サステナビリティを先進的に推進する企業への視察や、Jクレジット制度の勉強会など、時代の要請に応じた学びの機会が多く設けられました。

これらの活発な情報交換や交流こそが、当工業会の発展の原動力であると改めて感じております。総務広報委員会としましては、今後も皆様の事業活動に役立つ情報を迅速にお届けできるよう努めてまいりますので、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(文責；総務広報委員長 平林 正幸)